



議員 櫻田基介 新政治家

学校教育について



問 本市では、他市に先駆けて、

以前からICT教育に力を入れてきましたが、昨年度新たに組み入れたICT環境整備の概要について伺います。

答 教育部長 今までは児童生徒

数に対してタブレットの台数が少なく、自由にいつでも使用できる状況ではありませんでした。しかし、昨年度末に、市内の全小中学校1人1台のタブレット型端末と高速大容量の通信環境が新たに拡張整備され、学習活動の一層の充実が図られました。

問 タブレット型端末の授業での活用方法について伺います。

答 教育部長 さまざまな学習支

援ソフトが端末に導入されており、教師用端末でリモートコントロールし、共有したい情報を児童生徒の端末画面に表示することも可能です。

また、臨時休校の際には、学びの保障のため、端末を持ち帰り、家庭学習やオンライン学習等での活用も想定しています。

問 ICT教育に対し、児童生徒や先生方の反応はどうか伺います。

答 教育部長 児童生徒からは、学習意欲の高まりや主体的な学習の充実につながっている等の意見があります。先生方からは、児童生徒の興味関心を高めやすく、主体的な学びにつながっている等の意見の反面、ICTを活用した授業の経験が少ないため、操作に不慣れで、不安があるとの意見もあります。

問 先生方に対しての、市のサポート体制について伺います。

答 教育部長 専門的な知識・技能を持ったシステムエンジニアであるICT支援員を学校に配置し、授業のサポート体制を整備するなど、先生方の不安や負担の軽減に努めています。

問 これからの市のICT教育の展望について伺います。

答 教育部長 ICT教育の特性を活かし、電子黒板の活用など、基礎学力の向上につなげられるよう指導していきます。



防災について

問 消防に関する考えや、現在、力を入れて取り組んでいる内容について伺います。

答 市長 消防の重要性は深く認識しており、特に消防団に関しては、日々の地元地域での警戒・巡回活動など常に災害への備えをしています。ほかにも、災害時の救援能力向上のため、消防団各部にチェーンソー配備および取扱研修を6月末に予定しており、今後も消防力強化に取り組んでいきます。

問 市内の消防水利の状況について伺います。

答 総務部長 消火栓が924か所、防火水槽が846か所、その他の水利が50か所の合計1820か所です。

問 数多くある中で、どのような方法で修繕箇所を把握しているか伺います。

答 総務部長 消防団による水利点検から連絡をいただくケースがほとんどですが、区や市民の方からも連絡をいただいています。

問 位置情報を含め、消防水利の現状把握について、どのような対策を取られているか伺います。

答 総務部長 位置情報管理のため、消防水利システムを運用しています。また、現在、水利施設一覧を示した地図作成のため準備を進めており、7月中

旬頃には、消防団員の方々に、施設の位置情報の再確認をお願いする予定です。

道路整備について

問 飯岡一宮線バイパスのうち、小松地先から蓮沼平地先までの区間が未整備となっていますが、現在の状況および事業スケジュールについて伺います。

答 建設環境部長 事業工程については、明確に示されていませんが、事業主体である千葉県山武土木事務所へ確認したところ、木戸川をまたぐ橋りょう工事を含め、道路整備に必要となる用地の取得を進めており、事業の推進に努めていくと聞いています。

問 県道飯岡一宮線の松ヶ谷口地先の中谷之下地区において、拡幅工事が止まっている箇所があります。継続的に用地交渉を行っているとお聞きしましたが、その後の状況について伺います。

答 建設環境部長 千葉県山武土木事務所を確認したところ、ご質問の道路の拡幅事業が止まっている箇所の用地交渉については、昨年度、用地契約の締結に至り、土地分筆と所有権移転登記の作業が完了したと聞いています。

問 今後の予定についてわかって

いる範囲でお聞かせください。
答 建設環境部長 工事の実施に向けて、予算の確保に努めると、県より聞いています。